

にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ



世界の国から過去最高記録の訪問者!

No. 121

今年で29回目を迎えた「外国人のためのだんじりインフォメーションセンター」が、岸和田駅南口近くで9月14日(土)、15日(日)開設されました。昨年度は度重なる豪雨、酷暑、地震、台風、関空閉鎖等々、災害国日本を世界へ知らせた悪条件下にもかかわらず、開所以来最高記録の訪問者を迎えました。今年は幸いにも2日間とも好天気に恵まれ、更に大幅に記録を更新し、46か国、402名の訪問者を迎えました。

開設当初とは違って、事前にインターネットを通じて、岸和田だんじり祭りとはどういうものか、アクセスや曳行ルートを検索し、ある程度の予備知識を持って祭りの見物に訪れる外国人が非常に多くなったということが大きな特徴となっています。スマホを片手にビデオや写真におさめ、その場で瞬時にして、世界に向けてネット配信する時代となり、今や世界に馳せたる祭りとしてすっかり定着しました。更に今年はラグビーワールドカップ開催と時期を同じくしたことも、大幅に訪問者が増えた一因でしょう。



市長と一緒に

言語別だんじりマップは内容も改訂され、従来の英語版、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、中国語版(2系列言語)、韓国語版、インドネシア語版、ベトナム語版、日本語版に、更にドイツ語版も加わり、世界の数ある祭りの中でも、他に類を見ない10か国語版のだんじり情報満載の多言語マップが揃いました。

センターのオープン中、NHKワールド JAPAN テレビ国際放送の取材を受け、スタッフが訪問者を温かく「おもてなし」をしている場面が全世界に放送されました。スタッフとの交流も素晴らしい国際交流の場となりました。来年もまたどうぞいらっしやいませ!
(広報部会)



おもてなし



NHK ワールド JAPAN 国際放送中継



無料配布中



ifa-kishiwada.rinku.org

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出合いを求め、ふれあいを大切にしたい親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会

おもてなし ひと言コメント

だんじり インフォメーションセンター

2019外国人のための

岸和田だんじり祭りは今やインターネットを媒介し、世界に馳せたる祭りとしてすっかり定着しました。関西空港に近いという利点を活かしながら、日本での最初の観光スポットとして、見物に訪れる外国人観光客が年々増えています。


今年は好天気にも恵まれ、当センターの開所以来最高の46か国、402人の訪問者を迎えました。大きなスーツケースはセンターに預け、だんじりマップを片手に見物スタート! そのコメントの一部をご紹介します。(広報部会)



 **最初の訪問者 新婚さんの考古学者 (カナダ)**

ハネムーン中で昨年香港から着いたばかりのディクソンさんカップル。バンクーバーで考古博物館の職員です。堺の古墳群が世界遺産に指定されたことに大変興味を持っていて、このような巨大な釣形古墳は見たことがありません。明日仁徳天皇陵古墳を約3km一周するコースに挑みます。その前に YouTube で何度も繰り返して見たファンタスティックでクレイジーな祭りとはどんなものか、この目で確かめたい一心で岸和田に来ました。



日本でツーリストガイド (ドイツ) 

シーボルトとロマンティック街道で有名なヴェツブルグ出身のクリスティーナさん。日本が大好きでドイツの大学で日本文化を勉強した後、中央大学で日本語と観光学を学びました。流暢な日本語と豊富な日本文化の知識を活かし、外国人旅行者のために日本全国を巡るツーリストガイドとして活躍しています。どこへ行っても清潔で安全で秩序しく、人々もやさしいので、安心してガイドできます。来年はぜひ岸和田だんじり祭りコースを企画します。



 **珍しい国からようこそ (ルユニオン仏領地域圏)**


ソリエさんカップル。日本から55時間、南アフリカ・マダガスカル島の東に位置する人口85万の島からこんなに遠い岸和田へ? 今から10年前エアフランスの機内マガジンで知り、極東の未知の国日本に興味を持ったのがきっかけで、美しい景色、グリーンで安全、伝統的な風習、親切な人々に魅せられ、爾来6回目の来日です。そしてついにこの祭りに出逢いました。センター前を走るだんじりの囃子にあわせて、ガッツなカメラポーズです。



 **優秀な生物学者を目指し勉強中 (レバノン)**

オーマンディッドさん。今年4月より大阪大学で留学生として、遺伝子組換え技術を用いた産業利用向けバイオテクノロジー分野で学んでいます。4トンのだんじりが、どうして安定してまっすぐ走行し、勢いを失わず角を曲がれるのか、何故全員が一糸乱れぬ行動を取れるのか、非常に専門的な質問です。受け付けカウンターに飾っているミニチュアだんじりで、大工方の指示、前てこ、後てこを使ったメカニズムの説明で納得していただけました。



仲良しの大学生兄弟 (フランス) 

リヨン大学で医学を学ぶ兄と経済学を学ぶ弟のナリオン兄弟です。専門は違いますが、2人の共通の趣味は日本のアニメでそのストーリーと作品の美しさに魅せられています。そして自然にあふれ、新しい文化と古い文化が調和よくミックスされている日本に興味を持っています。京アニの悲しい出来事のと、全世界に向けた社長メッセージのフランス語版を読み、まず自分たちにできることは現場でお祈りすることだと一致しました。将来は勿論日本へ留学です。



 **韓国で英語を教えているお嬢さん (南アフリカ)**

首都ヨハネスブルグ出身のジャスミンさんです。英語を学ぶためにイギリスに留学しました。その後、世界の国々で英語を教えながら、いろいろな文化を学びたいという夢を実現しています。そして現在は韓国ソウルで英語を教えています。だんじり祭りは韓国に来た日本人の友達から教えてもらいました。日本人はとてもシャイでおとなしいという印象がありますが、お祭りに関してはとても活発です。次の赴任地は日本に決めました。

日本の古武道の究極を学んでいます (コスタリカ)

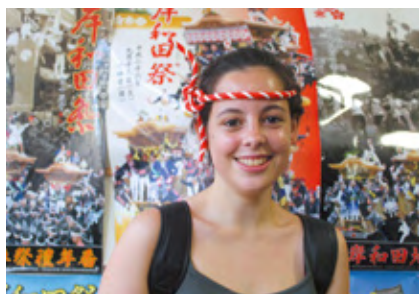
お国は世界でも有数の植物群と動物群が生息する環境保護先進国として有名です。ロドリゲスさんの希望で、顔写真よりも名前刺繍入り合気道着です。立命館大学で古武術インストラクターの肩書で合気道に関連した「緊急管理」、「物理的セキュリティ」、「戦術医学」という難しい学問を学んでいます。筋肉隆々の体格でだんじりの梃子の操作には適していることを伝えます



と危険で怖いので「ノーグラシアス」(お断り)という繊細な神経の持主です。

俳優修業中です! (スペイン)

とてもキュートなジュディファさん。バルセロナ芸術大学卒業後、同地の日本語学校と俳優養成学校で勉強を続けています。今回は日本の提携先である芸能事務所です半年間の予定で研修を受けるために7月から東京で滞在しています。そして芸能事務所に所属している俳優さんや職員と一緒にテレビ局などへ同行して基本的なことを学んでいます。今回休みが取れたの



で「9月の祭り」で検索し、だんじり祭りを見にきました。日本でデビューかも!

オールブラックスファミリー (ニュージーランド)

もちろんラグビーワールドカップ観戦のために来日したマイクさん父娘。(お母さんはお留守番)早い目に来日して、ネットで見た岸和田だんじり祭りをぜひ見たかった由。ニュージーランドの試合のチケットは日本戦を除きすべて購入できました。娘さんたちは交換留学生として住吉高校で学んだことのある大の親日一家です。ワールドカップが終わったらぜひ富士山



の周遊観光に行くことを楽しみにしています。ニュージーランド頑張れ!

大道芸の達人! (アメリカ)

フランクリンさんはシカゴ出身。東京で中学校の英語の先生をしています。大判のうちわを使った素晴らしい曲芸を満員のホールの中で披露され大喝采を浴びました。他にも皿や番傘を使って、渋谷のゼブラ交差点でいつもやっているそうです。日本へ来てまだ6か月です。日本の生徒はおとなし過ぎるというのが印象でしたが、だんじりを元気よく曳いている岸和田の



中学生を見て印象を変えました。こんな面白い先生の授業を受けてみたいです!

アジアの国々を繋ぐ架け橋に! (カンボジア)

チャンダラナさんは大阪府内の或る高校に交換留学生として、今年の8月から来年3月まで勉強中です。こんなに大勢の見物人がいて、1台のだんじりにたくさんの人たちが元気よく一体となって走ったり、屋根の上で飛び跳ねるようなお祭りを見るのはもちろん初めてです。お国での祭りは宗教的なもので全く雰囲気違います。将来の夢は日本の大学に留学して、

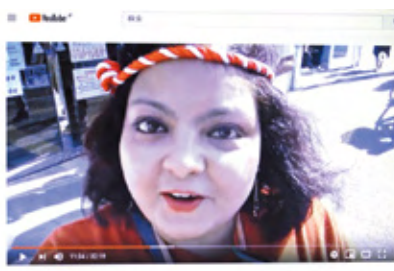


アジアの国々を繋ぐ架け橋になるような仕事に就きたいそうです。



日本の文化に魅せられて (イスラエル)

ユダヤ、キリスト、イスラムの3大宗教の聖地エルサレムから来ましたスハグさんカップルです。常に周囲を緊張状態の関係にある国々に囲まれているので、何事も安心して信頼できる平和的雰囲気にあふれた日本を本当に素晴らしい国だと思っています。大学で学んだ日本文化を現実に体験でき、その喜びで感動しています。明日は京都で伏見稲荷大社の鳥居を見たあと、ネットで知り合った友人の案内で茶道、華道の手ほどきを受ける予定です。



YouTube にアップロード (インド)

VAS CHAN さんの2日間に亘る素晴らしいレポートをYouTube にアップロードしていただきました。センター内でのスタッフの様子がよく分かり、偶然居合わせた USJ で Back to the Future に出演されていた俳優さんと出逢い大喜びでした。アップロードされた直後から閲覧回数が急上昇中です。まさに世界の岸和田だんじり祭りの PR に貢献していただきました。ぜひご覧ください。
<https://youtu.be/Y7alhY0cpso>

「外国人のための だんじりインフォメーションセンター」訪問者内訳

【国別】	
①中国	38人
②インドネシア	36人
③台湾、アメリカ	35人
④カナダ	30人
⑤オーストラリア	26人
⑥フランス、スペイン、イギリス	21人
⑦オランダ	16人
⑧フィリピン	14人
⑨アイルランド	8人
⑩ドイツ、ベルギー	7人
(以下省略) 計46か国、402人	

【言語別】	
①英語圏	137人
②中国語圏	58人
③インドネシア語	36人
④フランス語	28人
⑤スペイン語圏	26人
⑥オランダ語圏	18人
⑦タガログ語圏	14人
⑧ドイツ語	12人
(以下省略)	



国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦労話や感じていることを自由に投稿していただきましょう。

Let's learn foreign language.

《学習は気負わず、楽しむこと!》

社会人になり、留学経験も海外赴任経験もないが、英語が話せるようになりたい。話せた方がいいな。と思い、週一回の英会話教室に通いはじめました。最初は、外国人講師の話している英語がわからず、くじけそうになりましたが、話していることが、少し解ればいいよ。自分の言いたいことが少しでも伝わればいい。気負わず、楽しむことを第一に続けました。

その頃に知ったのが、設立されたばかりの岸和田市国際親善協会でした。第二期日本語指導者養成講座の開講に伴い日本語指導者のボランティアを募集していました。外国人から見た日本語、日本語指導の難しさを痛感しながら、外国語としての日本語の学習に励みました。当時の日本語サロンの学習者は、小、中学校に英語を教えるためにきた AET の方々が多く、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、

イギリスなど様々な国の方と交流ができました。もちろん、日本語サロンですので、サロンでは日本語のみの会話ですが、サロン以外での交流は、英語と日本語。お互いに学習しながらの国際交流でした。

そのほか、当協会主催のイベントにもたくさん参加しました。外国での日本語学習の現場を見学する事ができたオーストラリア研修旅行、オオサカ・イン・ザ・ワールドやスキットフェスティバル、クリスマスパーティー、浪切ホールでの外交官を招いてのイベントなどなど。訪岸された外国の方々との交流することで、英会話の実践練習ができました。

岸和田を訪れる外国人は、英語のネイティブスピーカーばかりではありません。私たちのように第二言語として英語を話す方々もたくさんいます。間違えてもいいではありませんか。とにかく話してみましょ。いろんなイベントに参加して皆さんの外国人の友達をつくりませんか? (東田 和代)

やさしい

日本語



「やさしい日本語」って何?

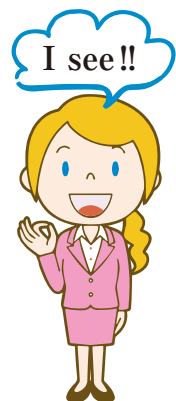
岸和田市には、約2200人の外国人の方々が住んでいます。外国人とコミュニケーションをとるには、その国の言語、または、お互いがわかる言語が良いですが、話すことが出来る人は少数で

す。外国人は、日本で暮らすために日本語を勉強しており、少しなら日本語が分かるという人も多くいます。しかし、私たちが普通に使っている日本語は、外国人にとっては難しいです。そこで、少しの工夫とやさしさがあれば外国人にも伝わる「やさしい日本語」にすることができます。「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。

1995年の阪神・淡路大震災では、日本にいた多くの外国人も被害を受けました。日本語を十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人も多数いました。そこで、災害情報を外国人にも速やかに伝えるために弘前大学・社会言語学研究室により考え出されたのが「やさしい日本語」です。今では災害だけでなく日常生活でのコミュニケーションにも使われています。また、外国人だけでなく子どもや障がい者などさまざまな人にとってわかりやすい言葉です。(事業部会)

「やさしい日本語」をつくる時のポイント

- 1. 必要なものを取捨選択する**
伝えたいことを前に持ってくる。
補足情報を加える。
- 2. 一文を短くする**
一文中で、一つの情報提供にとどめる。
- 3. 難しい言葉を易しい言葉に言い換える・**
危険→あぶない
避難→にげる など
- 4. 文章全体を見やすくする**
漢字にはルビをつける。文節を区切って、分かち書きにする。
必要に応じて、絵や写真をつける。



参考文献：長浜市・長浜市民国際交流協会「やさしい日本語の手引き」

アメリカ生まれの日本人



和泉高校留学生
堀川 真優さん (日本)



日本人のご両親と兄、弟の5人家族でユタ州ウェスト・ジョーダン市で生まれ育った堀川真優さんと日本語の勉強しています。真優さんは、アメリカの学校の9年生で、学校や町の中の日常生活はすべて英語の世界で育ってきました。家庭内でも兄と弟とは英語で会話、お母さんには英語で話しますが、お母さんからは日本語が返ってくるのとこと、夫婦の会話は日本語、子供たちもお父さんには日本語で話すという、奇妙なコミュニケーションの家族だそうです。和泉高校で最初に会ったときは、もちろん容姿は日本人ですし、会話も日本人の高校生と変わりなく、いったい日本語指導で何をすればいいのかと思いました。

彼女の希望は現代国語と数学の教科書が勉強したいとのことでした。なぜ数学?と疑問でしたが、最初の授業で謎が解けました。彼女は漢字がほとんど読めないのです。というよりアメリカでは日本語の漢字に接する機会がほとんどなかったこと、会話では漢字が必要ないので、まったく不便ではなかったのです。



現代国語は芥川龍之介の「羅生門」です。ほとんどの漢字にルビをふり、内容や情景を説明しつつ読んでいきます。日本の高校生でも、情景が理解できるか疑問ですが、彼女には日本人のアイデンティティがあるはずだから、きっと何か感じてくれると思い一緒に読み進めました。

将来彼女は医療関係に進みたいとのこと、この一年間の日本語の勉強が活かされ日本で医療関係について、バイリンガルの医療人となることを期待しています。(内田 満弥)

日本語ボランティア レベルアップ講座 レベルアップ講座を受講して

8/24
(土)

講師 大西 雅子さん
(大阪YWCA日本語教師)



8月24日(土)マドカホールで開催された日本語ボランティアレベルアップ講座を受講しました。講師は大阪YWCA日本語教師会の大西雅子さんと、日本語サロン部会から25名の方が参加しました。

内容は、日本語を全く話せない学習者向けの日本語指導方法についてでした。ジェスチャー、写真、実物、絵など使えるものは何でも使しましょう。まずは言葉を知って覚え、それを使って簡単な会話をします。文字も覚えたほうがいいです。むずかしい発音の矯正方法についてなど今後のボランティア活動に参考になることをいろいろ勉強することが出来ました。

私が所属する福祉総合センターの日本語サロンには、現在ベトナム人、中国人、アフガニスタン人、イラク人がおります。金曜日の夜のクラスですが、仕事の後や夜勤の前の方も皆さん頑張って勉強しています。また、ボランティアの方々も仕事や家事等で忙しいなか来てくれています。私も21年間ボランティア活動をさせていただいておりますが、今は外国の方の為にはもちろん自分自身の為にも、もう少しの期間つづけたいと考えています。

想像してみてください。ベトナム、中国、イラクなどの国に行っても仕事をし、その国の言葉を勉強することを。日本語サロンが、外国の方にとって勉強する場所であり、ほっと出来る場所であればいいなと思います。

(加藤 善郎)



ifc コラム EL MUNDO

エルムンドとはスペイン語で「世界」を意味します。国際化の時代にあわせ世界のカルチャーファッション、旅行、ライフスタイル等々がどんどん変わりつつあります。その中で皆さんが日常生活で感じたことを題材にとらわれず、自由に投稿していただくという趣旨のコラムです。

《石巻市立大川小学校の悲劇》



津波は鉄筋コンクリートの壁を突き破りすべてを飲み込んだ

2011年3月11日に発生した東日本大震災で児童・教職員84人が犠牲になった宮城県石巻市立大川小学校の悲劇は学校現場に大きな教訓を残した。児童の遺族が市・県に損害賠償を求めて提訴。2審仙台高裁判決は「校舎が津波浸水想定区域外であっても、立地条件から津波襲来約7分前に教員らは予見できた。危機管理マニュアルを改定し、避難場所を定めて避難経路を記載する義務を怠った。また市教育委員会も不備を是正指導しなかった」など事前防災の不備を指摘し、学校と教委の過失を認めた。市・県側は上告し係争中である。

私が現場に立った時「何故?」というのが第一印象である。津波は本震発生後およそ50分経った15時36分頃、三陸海岸・追波湾の奥にある新北上川を遡上し、河口から5kmの距離にある学校を襲った。更に校庭のすぐ傍には緩やかな傾斜の標高75mの裏山があり、時間的にも避難するには十分に余裕があったはずである。緊急避難マニュアルが存在していなかったため、あるいはまさかこんな所で津波が来るはずがないという思い込みが避難のタイミングを逸したのである。最終的には地震発生から40分以上経ってから、河川沿いの三角地帯に避難した。災害時には海岸線や河川には近づかないという鉄則から大きく矛盾している。避難先として選定した三角地帯も標高不足で津波に呑み込まれており、避難が完了していても被害は避けられなかったのは当然である。

南海トラフ巨大地震などで津波の恐れがある市町村で、危機管理マニュアルで津波対策をしていない学校が1校でもあれば大川小学校のような犠牲を生みかねない。子どもたちの命を守るためにどうすればよいか、具体的な対策を学校に求めるのは現実的には難しい。専門家を交えながら、教育委員会が全面的にバックアップして対策を講じていくべきだと考える。

(塩屋 裕)

6/15 Ms Alice Fujita さん
(土) (フィリピン)

6月のゲストはフィリピン人の藤田アリスさんです。藤田さんと言う名前で見ると日本人と結婚されています。彼女は今富田林の小学校でALT (Assistant Language Teacher)として働いておられます。ご主人が新聞記者としてマニラに滞在中に、クーデターがあった時に知り合われて結婚。その後、新聞記者ではなく外信記者になられた関係で、京都、マニラ、羽衣、西宮、千葉、バンコック、そして今岸和田に住んでおられますが、いろんな所で暮らされた時の話を、ユーモアを交え楽しく話して頂きました。

マニラ、バンコックでは物価の違いもありますが、ご主人が外信記者なので会社からの手厚い手当を受け毎日を優雅にゴルフ、テニスにと私達には考えられないマニ



ラマダム、バンコックマダムとして海外生活を送られたそうです。しかし子供さんは海外生活が長かった為、日本語をあまり話せませんでした。そして海外で日本語学校に通っていた時は、外人と言われていじめられたため、インターナショナルスクールへ通うことになったそうです。その結果、日本語、英語、タガログ語、タイ語と4カ国語も話せるそうです。彼女も勉強好きでタイマッサージや介護の資格を取られています。

今回、急にゲストをお願いしたにも関わらず、快く引き受けて下さりありがとうございました。とてもエネルギー溢れる女性、そんなイメージを持ちました。(小島 祥子)

7/20 Ms Reede Lowery さん
(土) (カナダ)

7月のゲストはカナダから留学中の Reede Lowery さんでした。2年前に初めて日本に来られて、今回2度目の来日。留学生として帝塚山学院大学で学んでおられます。カナダでは日本について知る機会が多くなく地震や津波などの自然災害に関する事が中心、また学校ではアジアよりヨーロッパの事を多く学習する傾向にあり、Reede さんにとって日本はとても遠い国だったようです。しかし滞在中の色々な体験から日本文化の多様性や日本人の固定概念に縛られない考え方に出会うこととなります。日本人の礼儀正しい振る舞いや他人を思いやる気遣いは母国カナダにも通じるものがあると感じられています。

さて、国土全体に10州を有するカナダは移民や少数民族等の様々な課題を抱えています。中でもフランス語教育を最優先したいとする Quebec 州とその他の州との関



係を例に挙げ、ちょっと悩ましいお国事情や、隣国アメリカ合衆国との関わりにも話が及びました。非常に長い非武装国境を共有する両国は貿易等を通じて良好な関係を築いていますが、共に多くの移民で構成されているにもかかわらず明らかに文化の違いがあるそうです。

Canadian culture is mosaic. 一方 American culture is melting-pot. との言い様に思わず頷いたのは私だけだったのでしょうか。「個人的には・・・」と前置きをされながらも忌憚なく話してくださった Reede さんの姿に清々しさを感じると同時に教科書には載っていないカナダを学べた時間でした。(福塚 篤子)

8/17 Mr Jerome Makenson さん
(土) (ハイチ)

8月のゲストは笑顔が素敵なジェローム・マケンソンさんでした。カリブ海に面した西インド諸島のイスパニョーラ島西側の国ハイチについて興味深い話をしてくださいました。因みにアメリカ大陸付近にあるのに「西インド諸島」と呼ぶのは、探検家コロンブスがこの地に到達した際に、インド付近と間違ったことに起因しています。その後の歴史は入植者が先住民を虐殺し、西アフリカから奴隷を連れてくるといった暗い過去がありました。1804年、世界初の黒人共和国として独立を遂げましたが以降も政情は安定せず、2010年には大地震に見舞われ貧困率も高い状況です。食事は、米を主食とし、フライド・バナナ(甘くない)、パンプキン・スープ、シーフード、トロピカル・フルーツ等をよく食べるそうです。信仰する宗教はほとんどの人がカトリックですが、アフリカに起源をもつ



ヴードゥー教の慣習も残っています。

ジェロームさんは首都ポルトープランスに生まれ、社会学、法律、外交等を学んだ後、2010年より国連開発計画で各国のNGOと共に大地震後の社会生活の安定に貢献したり、各国からの援助事業計画の策定や交渉に携わったりしました。2013~2014年の日本の外務省による日本語・日本文化研修時に日本人の奥様との「運命的な出会い」があり、子宝にも恵まれ日本に定住することとなりました。趣味は、読書、サッカー、バスケットボール、登山などで、最近はだんじりにも参加されています。伝統的な和風の結婚式に興味があり、「ぜひ、誰か招待してください!」とおっしゃっていました。(岡本 正之)

日本語サロン便り 職員会館サロン編



職員会館日本語サロンは教室に市役所の職員会館を借用しています。市役所やお城からすぐの場所にあります。現在、9名ボランティアが常時活動しており、内男性は2名です。毎週水曜日の午後7時から8時半まで教室を開いています。サロン生は時期により変動がありますが、直近では、ベトナム、アフガニスタンの人を中心に8名ほどが常時参加しています。

アフガニスタンからのサロン生は家族全員、ご夫妻と幼児を含む5人の子供さんが訪れ、教室はさながら一家団欒の雰囲気となります。奥様も熱心なサロン生で毎回手作りのお菓子を持参してくれます。

当サロンでは定例で8時からティータイムを設けていますが、勉強の合間に戴いたお菓子と共に、和気あいの雰囲気です。

ベトナムのサロン生のひとりアンさんも熱心で、ほぼ皆勤です。最近では日本とベトナムの文化の違いなどを日本語で短い作文にして持って来ます。教室でその作品を検討しています。当サロンに初めて来た時に比べ会話も円滑になり語彙も増え着実に力をつけてきています。このような上達の跡を見るのは私たちの励みにもなっています。



どのサロンでも同じでしょうが、多くのサロン生は実習生として来日しており、本人がサロンに来たくても多忙な仕事に追われ、安定してサロンに参加できないのが、当サロンの悩みのひとつでもあります。

(井上 正己)



地球どんぶり

「ゆかたを着て久米田池夏まつりに参加しよう」

8/3
(土)

インドネシアとベトナムのサロン生17名と日本人スタッフ13名がゆかたを着て参加しました。当初参加を希望していたイラン、ネパール、中国の親子はここ数日のあまりの暑さに体調をくずし、残念ながら参加できませんでした。来年はぜひ一緒に行きましょうね。

KIMONOクラブのメンバーを中心にゆかたの着付けを行いました。KIMONOクラブは2017年4月に発足して今年で3年目を迎えます。最初は自分一人で着ることができなかった私さえ、今では人に着せることができるようになりました。KIMONOクラブは毎月第2・第4土曜日の午後1時半～3時半、マドカホール3階の和室で活動していますので、興味のある方は事務局に連絡の上ぜひ一度見学にお越しください。

ゆかたに着替えて久米田池に着いたころにはすっかり日が暮れて、池の周りに置かれた手作りの灯籠がほのかに周囲を照らしています。特設ステージから心地よい音楽が聞こえてきます。8時から約8分間の花火大会、池の対岸で打ち上げられる花火はどこからでもよく見えて、小規模ながら夏まつりの気分を盛り上げてくれました、みんな思い思いのポーズでたくさん写真を撮りました。



ゆかたや小物の貸し出し、着付け、使い終わったゆかたの洗濯など、今回ご協力くださったみなさまに感謝申し上げます。また来年もこのようなイベントを開催したいと思いますので、引き続きみなさまのご支援よろしくお願いたします。

(事業部会 藤平 敬子)

地球家族

Hot or Cold

「勺(しゃく)」、「勺(もんめ)」が2010年に常用漢字から削除されていたことを知りました。「一升瓶」は使いますが、その百分の一の「勺」や重さの「勺」を日常使うことは希になり、日本でもリットルやグラムを使うのが普通になったことも関係しているようです。



さて、日本に来たアメリカ人と話をすると、この単位のことでも頭を悩ますことがしばしばあります。天気予報を聞いていて

「明日は最高気温が35度を超える酷暑となります」

「Tomorrow, more than 35 degrees.」「35?」「35 degrees Celsius.」「Hot or cold?」

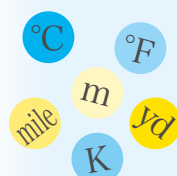
そこで換算して「95 degrees Fahrenheit.」「Oh! It's very hot!!」という具合で、常に換算をしないとお互いピンとこないことがあります。

アメリカで車を運転する時は、道路標識やスピードメーターがマイル表示なので、注意が必要です。ハイウェイを時速90kmで走っているつもりが、実は時速90マイル=144kmとんでもないスピードで走っていることとなります。

泉州国際市民マラソンに参加したサウスサンフランシスコのランナーが、制限時間内のゴールを目指しマイル10分のペースで走っていたところ、どんどん距離を稼ぐので、「今日は調子がいいな」と思っていたら、なんと沿道の表示がキロ表示だったので、制限時間オーバーで途中失格になったとか、ならなかったとか。

それぞれのお国柄、歴史の中でその国独自の単位が生まれ使われてきました。「勺」、「勺」のように使われなくなり、世界共通の単位の「リットル」や「グラム」に置き換わっている例もありますが、いまだに華氏やマイルが日常使われていることも現実です。

日本と諸外国の外交がいろいろギクシャクする昨今、これだけは温度差のないことを祈ります。



(内田 満弥)

Youは何しに岸和田へ? Why did you come to Kishiwada?

岸和田中央ライオンズクラブ交換ユース生

Gemma Protasio Rodriguez さん
(スペイン)



Q) 自己紹介と出身地 Elche 市 /Alicante 県について

A) 9月から地元の大学へ進学予定で今は夏休み中です。国際ビジネスに興味を持ち、今までカナダ、スウェーデンで交換ユース生として留学したことがあります。出身地は地中海に面したスペイン南部に位置し、亜熱帯性気候ですが、日本と同じような気候で今は湿度が高くて蒸し暑いんです。年間降雨量もたった200ミリで殆んど雨は降りません。岸和田でホームステイ中、何度も土砂降りで洪水警報が出て、初めての経験なので大変びっくりしました。しかしエルチェは灌漑用下水が整備されているので椰子、オレンジ、アーモンドなど緑の植物がいっぱいです。エルチェ市の人口は22万人で岸和田市とほぼ同じです。また靴の生産で有名で、街のあちこちに靴のモニュメントがあります。

Q) 岸和田中央ライオンズクラブとどのような関係? なぜ岸和田へ?

A) 日本はアニメや独自の伝統文化があり、また世界一の長寿国、世界有数の経済発展国であることに興味を持ち、交換ユース先として日本を希望しました。ホームステイ先を探していた処、以前岸和田だんじり祭りを観て大変感動した母の友人の強いお勧めで岸和田に決めました。また母が地元ライオンズクラブの前会長で、たくさんの国々のライオンズクラブと親交がありますので、岸和田中央ライオンズクラブ・4つのホストファミリーにお世話になることができました。



エルチェを象徴する靴のモニュメント



Q) 滞在中どこへ行きましたか? どんな体験をしましたか?

A) 京都、奈良、高野山、白浜、広島、姫路、USJ 等々スケジュールぎっしりで各地を訪問しました。また世界遺産に指定されたばかりの仁徳天皇陵や天神祭り船渡御を見物し、犬鳴山修験道体験山伏修行、生け花などを体験することができました。ライトアップされた岸和田城はとてもきれいでした。

Q) 最後に日本の印象は?

A) 日本はどこへ行っても美しく、清潔で、秩序正しく、そしてあたたかく歓迎されました。また世界唯一の被爆国日本の象徴である広島平和記念館では数々の生々しい遺品に接し、平和であることの喜びを実感することができました。滞在中京都アニメーションの悲しい事件がありました。世界中のアニメファンのためにも1日早く立ち直って欲しいと思います。いつの日か再び岸和田を訪問し、だんじり祭りを見物することを楽しみにしています。(取材:塩屋 裕)



Information

■「ふれあい交流祭」スタッフ募集

【と き】 11月23日(祝・土) 10:30~16:00
【と ころ】 関西国際センター(田尻町)
*事前にお申込みください

■多文化学習「博物館で世界旅行メキシコ」

【と き】 11月7日(木)
【と ころ】 国立民族学博物館(吹田市千里万博公園)
*詳しくはチラシをご覧ください

■ホームページのリニューアルに伴いQRコード作成

URL:
<https://ifa-kishiwada.rinku.org/>
右記のQRコードから
ホームページに入れます。



■Mixed Roots ボランティア募集

外国にルーツを持つ子どもの生活支援や学習サポートを行います。ボランティア及び該当者を募集しています
【と き】 第2・4土曜日 13:30~15:30
【と ころ】 マドカホール 3F 視聴覚室

■English Open Café

各国のゲストを招きプレゼンいただき交流します
進行は全て英語で行います
【と き】 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30
【と ころ】 マドカホール 3F 視聴覚室
*申込なしでどなたでもご参加いただけます。

にゅとぴあ岸和田 No.121 編集担当

内田満弥・大塚 洋・塩屋 裕・西村紀子・三森すみ代
お問い合わせや感想などは事務局まで TEL&FAX (072)457-9694